

2008 年度 1 学期 アジア文化概論 II (東南アジア古典文化論) 期末課題

教員：青山 亨

課題配布日：2008 年 7 月 3 日

課題提出日：2008 年 7 月 17 日 (木) 4 限 授業時間中

レポートの形式：A4 判 3 枚。1 枚めの上部に「東南アジア古典文化論 1 学期期末課題」・氏名・学籍番号を明記し、引き続きレポート本文を書き始めること。左上をホッチキス止めすること。

課題-----

配布した青山の論文「インド化再考—東南アジアとインド文明との対話」(『総合文化研究』10: 122-143. 2007) に「インド化とは、当然のことながら、東南アジアの社会がインドになることではないが、しかし、その過程を経ることによって、それまでの東南アジアの社会とは決定的に異なる、まさに「インド化」したとしか名付けることのできない新しい東南アジア社会へと変容することなのである。」(p.140) とある。この文章が意味することを、論文の内容に即して具体的に説明してください。さらに、自分が専門とする地域における同様な社会変容(インド化である必要はない)の例をあげてください。
